

第 170 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和元年 7 月 31 日（水） 13：30～14：46

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局：河上部長 前木参事 湯浅課長（兼室長） 河上副参事

市原課長 牛尾室長 村木課長 外浦課長 平岡室長

原田分室長 佐々尾分室長 三浦分室長 小松分室長（欠席）

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について（資料 1）
- (2) 浜田市文化財審議会に対する市指定文化財指定解除の諮問について（資料 2）
- (3) 学校給食費の改定に係る諮問について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

夏本番に入った。一気に暑くなり、体調等崩されないよう健康管理には十分に気をつけていただければと思う。この 1 か月間を振り返ると、委員方には学校訪問を 7 月 1 日から計 6 日間にわたり実施し、各学校に訪問していただいた。本当に暑い中ありがとうございました。また、後ほどの協議会の中で学校訪問の感想等を聞かせていただきたいと思います。

学校も夏休みに入った。中学校の部活動では、県大会が県内各地で行われている。約 4,600 人の生徒が県大会に出場するとのことで、浜田の生徒も非常に頑張っている。団体競技では体操の男子で旭中学校が大会 2 連覇をした。団体で優勝したのは 1 つであったが、個人では色々なスポーツで頑張っていた。特に女子の柔道については、体重別で 8 階級あるが、その内 5 階級を第三中学校と三隅中学校の生徒が優勝したということであった。8 階級中 5 階級で優勝したということは今までなかったのではと思うほど好

成績で、全国大会へ出場するということが決まっている。柔道以外にも陸上、体操の個人でも旭中学校の男女の生徒が優勝している。ただ、体操の場合は県で優勝したからすぐに全国大会に出場ということではなく、中国ブロックの大会で団体の場合は優勝しないと出場できない。個人の場合は上位何人かが出場ということになる。昨年の試合の点数と比較した時に、旭中学校は中国大会でも優勝するだろうと言われている。是非、全国大会に出場し、頑張ってもらいたいと思っているところである。

それでは資料に基づき、この1か月間を振り返る。

① 6月28日(金)第169回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
前回の定例会を6月28日に開催をしている。

② 6月30日(日)藤間流藤恵会チャリティー公演(石央文化ホール)

この団体は毎年、チャリティー公演をしていて、その収益の中から何万円かを色々な団体に寄附されている。浜田市もいただくことが多いが、今年も教育委員会に3万円の寄附をいただいた。寄附金については、今整備をしている浜田城資料館の備品関係で使う方針にしている。

③ 7月1日(月)7月1日付職員人事異動・辞令交付式(教育長室)

これにより、学校教育課は1名増員になるということで、ありがたい異動であった。

④ 7月1日(月)教育委員会学校訪問(第二中、雲雀丘小、原井小、長浜小)

冒頭にも話をしたが、7月1日から学校訪問が始まり、7月16日までの間で6日間を使って各学校を訪問している。

⑤ 7月5日(金)美川小・第四中学校保護者対象・浜田市立学校統合計画審議会答申説明会(美川小体育館)

もちろん統合に反対といった意見もなかった訳ではないが、概ね反対といった意見は少なかったのかなと思う。ただ、第四中学校が第三中学校に統合という案であるが、第二中学校へという声もあった。しかし、次回までのところで色々検討していかなければならない質問もあったため、その辺りはきっちりまとめて次回、説明させていただきたいと思っている。

⑥ 7月6日(土)～7月7日(日)橋本弘安先生・ギャラリーートーク&ワークショップ(世界こども美術館)

橋本弘安先生が世界こども美術館に来られた。橋本弘安展を開催しているが、6月1日のオープニングの時にも来ていただいて、ギャラリートークとワークショップをしていただいたが、7月7日が最終日ということで、最終日に合わせて7月6日と7日の2日間、同じ様にギャラリートークとワークショップをしていただいている。市内の中学校、高校の美術部等の生徒も参加をしたと聞いている。

⑦ 7月6日（土）島根県埋蔵文化財調査センター講演会（石見公民館）

何年かに1回、浜田にまわってくるが、5年ぶりぐらいの開催であった。会場の石見公民館内いっばいに約130人の方々が参加をされていた。これは浜田開府400年記念というサブタイトルがついていたが、テーマとしては「石見の山城を考える」ということで、4名の研究者の方がそれぞれの研究の報告をされて、その後パネルディスカッションをされている。文化振興課からも藤田学芸員が浜田城の発掘調査をしているが、その報告をしたところである。

⑧ 7月9日（火）第24回世界スカウトジャンボリー大会出場報告（教育長室）

市長の日程で都合がつかなかったため、私のところに報告に来られた。これはボーイスカウトが中心になるが、全世界の170の国や地域から4万人が集まる大きなイベントである。そのイベントに浜田第2団隊員である高井亮さん、江津高校の3年生が参加をする。彼には役割があり、国際サービスチーム員ということで、来られる4万人の方々をおもてなしするという役を担って、7月22日から8月2日までアメリカに行っている。戻ったら報告に来ますといわれているため、またお盆の前後辺りに来てくれると思っている。高校では水球を頑張っていたが、全国大会には出場できなかったため、心置きなくアメリカに行きますと言っていた。アメリカで頑張ってくれていると思う。

⑨ 7月10日（水）令和2年度国県重点要望陳情（島根県庁内）

普段は教育委員会ほとんどない。教育委員会への要望というのは、県の教育長会を通じたり、市長会を通じて行うことが多いが、今回は他の市町に相談をして、それぞれ同じ要望を県にしようということで取組を進めた。というのが、教

職員の働き方改革に通じるが、校務支援システムの導入ということで、県が一括でやると国からの補助が受けられるが、市町村単位とか、地域ごとでまとまってやる分については国の補助はないという現行の制度である。是非、県全体で取組をしてほしいといった要望を他の市町と一緒に、この度、要望をしているところである。校務支援システムについては、昨年度、廿日市市に委員方と一緒に視察に行っているため、内容についてはお分かりだと思うが、是非、浜田にも導入したいと強く思っているため、これからも取組を進めていきたいと思っている。

⑩ 7月12日（金）令和元年度浜田市PTA 連合会役員市長表敬（庁議室）

⑪ 7月12日（金）令和元年度第1回PTA 連合会役員と教育委員会事務局の意見交換会（浜田公民館）

今年度の浜田市PTA 連合会役員の方が市長表敬をされて、その後、教育委員会の事務局の部課長と意見交換を行った。年に2回ほど開催しているが、その1回目であった。

⑫ 7月16日（火）教育委員会学校訪問（石見小、旭中、旭小、波佐小、浜田東中）

⑬ 7月17日（水）令和元年度島根県市町村教育委員会連合会理事会、総会及び研修会（ニューウェルシティ出雲）

これについては大変申し訳なかったが、腰痛の関係で欠席をさせていただいた。委員方には大変ご迷惑をおかけしたところである。現在、すっかりとは言えないが日々良くなり、普通に生活が送れるようになった。大変ご迷惑をおかけして申し訳なかった。

⑭ 7月18日（木）ことばを育てる親の会三隅支部要望（教育委員会室）

⑮ 7月18日（木）ことばを育てる親の会浜田支部要望（教育委員会室）

ことばを育てる親の会三隅支部と浜田支部から別々に要望があった。先生方の研修の充実、そして先生方の増員、学校によっては通級の担任が1名体制であるが、何とか2名体制にするように要望があったところである。

⑯ 7月19日（金）第36回全日本小学校ソフトテニス大会出場報告（教育委員会室）

全日本小学校ソフトテニス大会に出場する 3 名の児童が報告に来られた。松原小 6 年生の吉原さん、国府小学校 6 年生の尾門さん、石見小学校 6 年生の清本さんである。

- ⑰ 7 月 23 日（火）第 53 回島根県中学校総合体育大会・体操競技開会式（県立体育館）

中学校総合体育大会の開会式が県立体育館で夕方に行われ、参加をしてきた。結果等に関しては、先ほど申し上げたとおりである。

- ⑱ 7 月 24 日（水）第 35 回全国小学校陸上競技交流大会出場者市長表敬（庁議室）

全国小学校陸上大会に出場する 2 名の児童、高校総体に出場する 1 名の生徒が市長表敬に来られた。小学生の 2 名については、聞いたこともないような名前であるが、コンバインドという種目に出場し、走り高跳びと 80m ハードルの 2 種目で得点をつけて競い合うという新しい種目である。日本の陸上競技連盟の考えとして、小学生の時から特定の種目に専門的に取り組むというのはあまりよくない。複数の種目に取り組んで、幅広く力をつける必要があるという考えを持っておられるようである。今回は 2 種目の組み合わせの競技の中で、男子女子ともに県の代表ということで、浜田の児童が出場するということである。

- ⑲ 7 月 24 日（水）令和元年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会出場者市長表敬（庁議室）

浜田高等学校の佐藤さんであるが、小学生の頃から走り高跳びをやっていて、毎年 2cm から 3cm 記録を伸ばしながら続けているということであった。全国大会では是非、決勝に残れるように頑張りたいと抱負を言っておられた。

- ⑳ 7 月 24 日（水）雲雀丘小学校地域住民対象・浜田市立学校統合計画審議会答申説明会（雲雀丘小学校）

雲雀丘小学校区の地域住民を対象とした学校統合計画審議会からの答申の説明会を行った。委員方にも出席をいただいている。

- ㉑ 7 月 25 日（木）第 73 回島根県中学校優勝野球大会（浜田市野球場）

主会場は益田であったが、三隅と浜田の球場も使って 1 回戦、2 回戦が行われた。浜田球場での試合を半日ほど見に行ったところである。

- ②② 7月27日(土) 田中啓信先生春の叙勲受章祝賀会(ジョイプラザ)

教育委員会から私が代表して、祝賀会に参加をしている。瑞宝双光章、教育功労ということで学校教育の長年の功労に対する受章ということである。例年であると、4月29日ごろに決定をされることが多いが、今年は元号が変わるといった関係で、約1か月間遅れて5月28日に皇居で伝達式があり、ご夫婦で出席をされたということであった。

- ②③ 7月29日(月) 美川地区町内会長対象・浜田市立学校統合計画審議会答申説明会(美川公民館)

実は8月21日に美川地域への説明会を予定していたが、地元の会長から地域の方々に話す前にワンステップにおいて、町内会長方に事前に説明をしてほしいということで、7月29日に説明会を行った。ほとんどの町内会長さんが来られていて、その中で答申について説明をしたところである。当日の説明の内容と8月21日は全く同じ説明であると話をしたが、それでも構わないからということで説明会を行ったところである。

ここでの説明会でも反対意見が強い印象はなかった。

- ②④ 7月30日(火) 令和元年度島根県国公立幼稚園・こども園長会総会・研修大会(世界こども美術館)

午前中に講演があり、こども美術館の館長である寺尾館長が講師をされ、子どもたちに美術教育や実際に実習もされて物づくりを皆様方と一緒にしている。午後からは園長方が日ごろの業務の中で色々な問題を抱えておられ、そういった意見交換会を中心に行われたと聞いている。

- ②⑤ 7月31日(水) 第170回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
本日、第170回目の定例会を開催している。

- ②⑥ 7月31日(水) 第13回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ出場市長表敬(庁議室)

東京ドームで開かれる。開会式と表彰式には原監督も出席をされ、読売巨人軍がバックアップした大会である。その大会に出場する浜田ボーイズの方々が市長表敬に来られる予定である。

中学校の硬式野球はボーイズ、シニア、ヤングといった5つぐらいのグループがあるが、今まで浜田ボーイズはボーイズの山陰代表として全国大会に何度か出場している。ジャイアンツ

カップには5つの全ての団体が出て、岡山、鳥取、島根の中で1チームしか出られない大会で勝ち上がり、結構すごいことである。中々、岡山のチームに勝てないが、岡山のチームに勝って出場ということで、大変喜んでいる。全国大会でも、また活躍を期待したいところである。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

宇津委員

陸上競技のコンバインドという新しい種目は、既に小学校や中学校の大会で採用になっている種目であるか。

石本教育長

いわゆる陸上競技連盟が始めたものである。小体連の大会の中でもコンバインドという種目はないが、今回、陸上競技連盟が開催する大会の中で、色々な種目を小さい時には経験すべきだということで取組まれたと聞いている。

金本委員

リレーが優先であるか。

石本教育長

リレーで勝った人はリレーに出る。リレーでも、男子と女子のリレーが別々であったが、今年度から男子2人、女子2人の男女混合のリレーが行われるということで、男子だけ、女子だけといったリレーはなくなったようである。大会の規模そのものも、昨年までと比べて半分ぐらいしか参加できない大会になっている。

12月にクロスカントリーの大会が大阪万博の会場が公園になったところで開催されており、何年続いたかは分からないが、十数回続いている大会が今年を最後に終わるということである。その代わりとして、この全国大会で今まで長距離の競技はなかったが、長距離を盛り込むといったような話も聞いている。

藤本委員

7月18日に、ことばを育てる親の会からの要望があったということで、要望の内容としては教員の増員ということだが、この教員というのは基本的には県の教員であるか。

石本教育長

そうである。県費の教員である。

藤本委員

市の単独ではないか。

石本教育長

そうではない。

藤本委員

この要望に答えるためには、やはり県に対して市から要望をするということであるか。

石本教育長

毎年、教育長会、市長会、教育委員会連合会の要望にも必ず入っている。浜田で該当する通級のある学校というのは、中学校で

は第一中学校と三隅中学校である。小学校では松原小学校と三隅小学校、全部で4校しかない。

教員の数では、松原小学校が3人、三隅小学校と第一中学校は2人、三隅中学校だけが1人である。三隅中学校は1人でかなりの生徒がくるということになる。そして、他の学校に出掛けて行っただけの指導もあり、実は三隅中学校は第三中学校と弥栄中学校のエリアのカバーもしている。他の学校で指導をする時に自分の学校が留守になり、色々な相談や生徒が先生に急に対応してほしいといわれた時に対応できないため、是非2人体制にしてほしいという保護者からの要望である。

藤本委員

では、差し向き三隅中学校に対して増やしてほしいという気持ち強いということか。

石本教育長

そうである。三隅中学校への増員という思いが大きい。その他はよろしいか。

各委員

特になし。

2 議題

(1) 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について（資料1）

河上副参事

資料1をご覧ください。この度10月1日から施行される保育料の無償化であるが、「子ども・子育て支援法」の一部が改正され、幼児教育に係る保育料が無償化されたことに伴い所要の改正を行うものである。

概要としては、保育料の額の変更ということで、改正前は「子ども・子育て支援法」に規定する内閣総理大臣が定める基準により算定した費用の額の範囲内で市長が別に定める額となっていたが、改正後は無料という形にさせていただきたいと思う。

保育料の無償化に伴い、不要となる規定が第5条から第8条までであるため削除という形で整理をしている。これについては10月1日から無償化となるため、施行期日も令和元年10月1日としている。

経過措置として、同年9月までの保育料については、従前の例に従うという形になっている。具体的な改正条例については裏面に載せている。また、改正前と改正後の比較表も載せているので、ご参照いただければと思う。

ちなみに、8月1日現在で公立幼稚園3園の園児数は72名となっている。そのうち1名が休園中となっており、8月1日現在では

	71名の園児が在籍している。これについては、法令審査会を経ての条例提案となるため、若干、法令審査会において文言の修正等があるかもしれないが、内容としてはこのような形で9月議会に提案させていただきたいと思っている。以上である。
石本教育長	保育料が10月から無償化になることに伴う、条例の改正である。質問等はあるか。
藤本委員	所得制限等はないか。
河上副参事	所得制限は3歳児以上はない。ただ、2万5,700円を上限に無償となるが、浜田市の保育料はそれ以下であるため、全員が無償になる。公立幼稚園に通っている場合は10月1日からである。
藤本委員	承知した。
石本教育長	施行期日等のところで、同年9月分までの保育料については、なお従前の例によるとあるが、10月1日以降でも未納分については徴収できるということか。
河上副参事	そうである。今のところは4月、5月分までは完納である。6月分からは納付されてないところが若干あるが、4月、5月分までは完納している。
石本教育長	承知した。 その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	それでは、浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例については、承認していただいたということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

(2) 浜田市文化財審議会に対する市指定文化財指定解除の諮問について (資料2)

外浦課長	<p>市指定を解除する文化財であるが、金城町今福にある「金城の巨樹・銘木 大久佐川のエノキ」である。資料の下に指定時の状況と現状の写真を載せており、このような状況になっている。</p> <p>解除の理由であるが、枯死が確認されたためである。樹齢350年の樹木であるが、枯死により再生が図れなくなったものであり、今回また所有者の方からの申し出により、裏面にあるように樹医に樹勢の診断をしていただいた。記載のとおり枯死しているということであった。従って、指定文化財としての価値がなくなったということで、所有者の方からも解除の要望があった。よっ</p>
------	---

	て、今回、浜田市文化財審議会に指定解除の諮問を行うものである。
石本教育長	質問等はあるか。 直接関係はないが、樹齢 350 年より、もっと長い木が浜田にたくさんある。
外浦課長	いくつかある。
石本教育長	巨木については、指定されているのか。
外浦課長	全てではないが、指定されている。
石本教育長	旧市町村の関係で、市町村によって細かく指定されているところとそうでないところで差がある。金城は確かに数が多い。 木の再生の見込みがなく、指定解除したいということであるが、承認していただけるということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	提案については承認をいただき、諮問を審議会にさせていただくということによろしく願います。審議会は、明後日に開かれるのか。
外浦課長	明後日である。明後日諮る。
石本教育長	明後日、審議会が開かれるため、その時に諮るということである。

(3) 学校給食費の改定に係る諮問について (資料 3)

湯浅課長	平成 26 年度 4 月に給食費の改定を行っている。その当時から 5 年が経過しているが、その間引き上げをせずに今日まで至っている。平成 26 年度には、消費税率が 5% から 8% への引上げ、食料品の値上げ等があったが、そのまま据え置きとしていた。 平成 31 年 3 月の全国平均消費者物価指数 (食料) は、平成 26 年 4 月と比較して 6% 以上の上昇となっている。また、今年度 10 月には消費税率 10% への引上げとなる予定であるが、食料品については軽減税率が適応となり、食料品には影響がないと思っている。 こうした中で、限られた給食費の中で学校給食を提供してきたが、物価上昇の関係等の影響から、学校給食摂取基準に基づいた学校給食を提供していくことについては、大変厳しい状況となってきた。このことから、学校給食費の改正について諮問を行うところである。 諮問にあたっては、浜田市の附属機関である、浜田市学校給食
------	---

審議会で諮問することとしている。

状況については1枚はぐっていただき、これまでの改定の状況ということで資料を載せている。各自治区単位で見ただけならばと思う。ちなみに、平成26年度当時から5年間で牛乳が3.5円引上げとなっている。また、主食費であるお米や小麦粉についても物価上昇で上がってきている。そのため、牛乳の増加分、主食費の増加分については、おかず代でその分下がっている状況である。ちなみに、先ほど物価上昇率が6%以上と話したが、平成26年度を起点として、平成26年4月を100%とすると平成30年度の平均で見た時は、全国平均で6.2%増となっている。中国地方管内で見ると6.8%増である。物価上昇率の島根県内では松江市が基準として示されているが、ここでも6.6%増となっている。それを踏まえて、諮問をさせていただきたいと思う。

今後の状況であるが、諮問をさせていただいて答申をいただいた後には、各地区に学校給食センターの運営委員会があるので、そちらに諮っていただいて決定していくという状況である。

石本教育長
藤本委員

質問等あれば願います。

この表でみると、どれだけ上げたいというのは最後のページで見たらいいのか。

湯浅課長

最後のページについては現在の状況ということでお示しをしている。申し訳ない。

藤本委員

どれだけ上げたいということは、今は分からないということか。

湯浅課長

そうである。

石本教育長

給食審議会で話されるため、具体的にどうなるかは分からないが、おそらく審議会の中では、何%ぐらい引上げすることが適当であるとか、幅を持たせたような答申を出されて、それに基づいて具体的な金額を決めるのは、それぞれの給食センターが持っている運営委員会である。運営委員会の中で決められるため、審議会で何円であるといった金額は出ない気がしている。ただ、それで本当にいいのかどうかは別の問題で、市内全てで統一しようと思ったら、審議会が全ての給食費を決めるという方向性もいいのかもしれないが、今は運営委員会があつてそこで決めるということが決められている。

金本委員

平成26年を見ると、小学校が7円で中学校が8円上がっている。

湯浅課長	そうである。消費税分が上がっている。
石本教育長	先ほどの説明の中で、消費税が8%から10%に上がるが、軽減税率が適用されて食材費には該当しないということは、消費税は8%のままということか。
湯浅課長	8%のままである。ただ、それ以外のところで運送にかかる燃料費であったり、梱包代等については消費税が上がってくる。
石本教育長	調味料等は10%に上がるのか。これらは食材になるのか。
藤本委員	調味料等は軽減税率の対象にならない。かなり限られている。そのため、お店によってはレジを2つ設けて軽減税率対象の物品と軽減税率対象外の物品を扱うお店はレジが2つという話である。
石本教育長	これは難しい。計算できない。学校給食審議会に諮問する趣旨については、ご理解をいただきたいと思う。
	その他はよろしいか。
湯浅課長	先ほど、お伝えし忘れていたが、改定については来年の4月を考えている。
石本教育長	今回、消費税が上がることによって、他の市町村で学校給食費を値上げするといった動きがあるといったことなど分かるか。
湯浅課長	ちらっと聞いている話では、江津市が改定されるかもという話は聞いている。
石本教育長	来年度からであるか。
湯浅課長	そうである。
石本教育長	半年間は今のままでということか。
湯浅課長	そうである。
石本教育長	その他は質問等あるか。
各委員	特になし。
石本教育長	学校給食費の改定について、審議会に諮問することについては承認していただけるということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

湯浅課長	<p>行事予定表（資料4）</p> <p>資料4をご覧ください、今日以降、8月31日まで間の行事等予定表を掲載している。この中で、委員方に出席いただきたいものについては、8月19日（月）ふれあいフォーラムである。</p>
------	--

金本委員
石本教育長

これについては後ほど資料 10 で説明がある。

それから 8 月 21 日（水）に学校統合計画審議会答申の地域説明会にも出席を賜りたいと思っている。

それから 8 月 23 日（金）第 171 回教育委員会定例会である。その他の内容についてはご覧いただきたいと思う。よろしく願います。

8 月 9 日の教育講演会については。

教育講演会については、毎年委員方に出席をしていただいている。

湯浅課長

申し訳ない。出席を願います。

市原課長

令和元年度運動会及び学習発表会等日程（資料 5）

小学校は 9 月 7 日、8 日、14 日、15 日、中学校は 9 月 7 日、8 日、幼稚園については 9 月 8 日、28 日である。資料の右側には学習発表会の日程を載せている。お時間があれば地元を中心にみていただければと思う。簡単であるが、以上である。

牛尾室長

第 4 回（7 月）市校長会資料レジュメ（資料 6）

7 月の校長会等で伝えた内容である。資料 6 をご覧いただき、まず 1 つ目に「めあて」と「振り返り」ということで、これは以前から非常に浸透してきていて、子どもたちも非常に意識があがってきているところであるが、今一度、「めあて」と「まとめ」、「振り返り」を徹底しましょうという話をした。「まとめ」「振り返り」等のカードを教室に作っておいている学校も増えてきているが、まだ全ての教員がきちんとめあてを掲げて授業をしているとはいえない状況があるため、まずは授業で教員が「めあて」を明確に持って、そして子どもたちに示すことをやっていきましょうと改めて校長会で伝えている。

③を見ていただき、本来なら子どもとのやり取りの中で今日の授業の「めあて」はこうだねと作り上げることが理想であるが、中々難しい。だが、子どもとのやり取りの中で「はてな？」や「どうして？」を学習課題として目指していくということも質を上げていくために大切なので、今後も取組んでいきたいと思いますと話している。資料として、島根県教育委員会から出ているものや、枠で囲ってあるのは大分県教育委員会からの例であるが、「めあて」とは、「学習課題」とは、というきちんとした定

義を出しているのです、こういう考え方もあると紹介させていただいた。

2 つ目の新指導要録について、来年度から新学習指導要領が完全実施になる。それに伴って、指導要録の様式が変わる。浜田市では文部科学省から出された参考様式を使用するというのを伝えた。各学校へ、浜田市教育委員会から電子データで提供をする。通知表等を作るために一覧表を作るが、一覧表を電子データがリンクする形で各学校に提供をすると伝えている。

3 つ目にキャリア・パスポート活用・研究であるが、浜田市では今、県委託事業を受けている。7月29日に文部科学省の長田調査官に浜田市に来ていただき、キャリア・パスポートの意味や必要性など、どうやって進めていけばいいのかということで講演会をしていただいた。浜田市内はもちろん近隣の益田市、江津市、大田市、松江市からも来られた。総勢270名の参加があって研修を行ったところである。来年度から完全実施ということで、研究を進めているところである。

4 つ目にプログラミング教育についても、来年度、小学校に導入される。浜田市では最低限ここをやりましょうという計画案を作っている。夏休みの8月6日に現場の先生を募った5人くらいのプロジェクトチームを交えて計画案等を練って、現場に提供することになっている。

7 つ目に令和元年度「新しい学びプロジェクト」いわゆる協調学習であるが、授業研究会及び教科別等研修会の開催について資料Kをご覧いただきたい。明後日から東京で会議がある。教育長が副会長ということで、新しい学びプロジェクト拡大推進委員会に前原指導主事と参加される。

委員方にも開催要項と案内を今からお配りするので、是非、旭中学校と金城中学校の授業等を見に来ていただければと思っている。以上である。

村木課長

教育魅力化推進事業（浜田市県立高等学校支援連絡協議会）について（資料7）

昨年から、取組んでいる「教育の魅力化」における「高校の魅力化」の説明である。平成30年度の実績を本日報告する。

取組としては、高校の生徒が「この地域で学びたい、生きて

いきたい、子どもを育みたい」というような、魅力ある浜田市の地域づくりを目指している。

3校の取組であるが、浜田高等学校においてはHIRAKU講演会、これは高校1年生では自分を知るという意味での扉を開く「開く」、高校2年生の時には自分の外側を知るということで、背景の景の字を書いて「景く」。高校3年生は将来へ歩き出すという意味で開拓の拓と書いて「拓く」。そういった「ひらく」という文字を使いながらキャリア教育を進めていく。そしてイングリッシュキャンプ、広島大学訪問等を行っている。また、学校案内やオープンスクールを夏休みのこの時期にやっているが、そういったところで情報発信や生徒確保に取り組んでいる。

浜田商業高等学校においては、浜商学びのWeek事業ということで、右下にポスターを載せている。世界的に有名なビジネスに関わっている方々を呼んで、全校を対象とした講演会を開いている。最近では、eスポーツなどITについての学びの場を提供している。そして、浜商の情報発信、ホームページの更新や大阪、東京等であるUIターンフェアへの参加をして他県からの高校生を呼び込むといったことをしている。

浜田水産高等学校においては、この前の新聞にも出ていたが近隣の小中学校との連携や公民館に対して連携をして、カッター等の出前授業や缶詰を使ったキャリア教育に取り組んでおり、学校案内のDVDの制作にも取り組んでおられる。こういったことを、各学校がそれぞれの魅力ある取組を支援するコーディネーターを昨年の12月から配置をしている。生涯学習課に配置をしており、高校の魅力化だけではないが、高校の魅力化を中心とした取組を各高校に出向きながら調整、連携等をしている状況である。今年度、コーディネーターは地元説明会の企画、さらには各校のPR誌の発行、そういったところも取組みながら浜田市内の子どもたちが浜田市内の県立高等学校へ進学するような道を小中学校の時から育んでいきたいという取組をコーディネーターが行っているところである。

浜田開府400年記念2019年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操（資料8）

共催として、浜田市、浜田市教育委員会、浜田市体育協会で

ある。先日、打ち合わせをして新聞等でかんぽ生命が色々あって自粛ムードというところで、旗等が少なくなるという話もあったが、主催のままさせてほしいといったところである。

日時は 8 月 17 日の土曜日である。盆明けではあるが土曜日を活かして、多くの方に参加していただけるように、今動いているところである。

晴天の場合は浜田市陸上競技場、雨天の場合は島根県立体育館で行う。

講師の先生は、多胡肇さんと加藤由美子さんである。

目標は 500 人となっており、現在、浜田市体育協会やスポーツ少年団など、確定人員としては 300 人程度であるが、小学校や中学校など未確定なところがある。NHK で他県の様子を見ると大体、確定が 300 人くらいあれば倍以上は来るだろうということで、600 人くらいかなと思っている。また、サテライト的に東公園だけでなく、他の会場も考えながら全市的な取組にしていきたいと考えている。

次にサン・ビレッジ浜田のアイススケート場のシーズンオフのスペース利用についてである。これについては初めての試みである。どうしても夏場は、サン・ビレッジ浜田のスケート場が休止状態になる。指定管理者としては、空間スペースがもたないということで、今まで氷が張っていたところには、ホース等色々通っていて、平らなコンクリートである。そのコンクリートを活かして、軽スポーツ・スケートボード・ローラースケート・ラジコンなどで利用ができないかということで試験的に今試している。今、ランバイクといって小さな子どもがブレーキのない、足で蹴りながら進む乗り物が今流行っているが、練習がてらに来たということも聞いている。そこそこ広さもあって平坦なため、ちょっとしたものを置けばおもしろいなということで、まだ本格的なところではないが徐々にシーズンオフのスペースを使って、コンクリートも傷むことはないだろうという話ではあるが、その辺りも確認をしながら今、試験的に行っているところである。

東京 2020 オリンピック聖火ランナー募集について (資料 9)

既にスポンサーの 4 社と島根県の実行委員会が取組んでいる。

募集期間としては、スポンサー4社について6月中から、島根県においては7月1日から募集を開始し、8月31日で募集期間が終了となる。実行委員会から発表があり、少し古い数字かもしれないが、7月12日現在では島根県全体で303人の応募があり、うち浜田市を希望している人は18人である。

公募人員としては、30人程度であるため、まだまだ倍率が上がると思っている。今日現在までの新しい数字としては、7月12日現在のものとなっている。

浜田市としては、7月広報や募集要項、チラシの配置、ポスターの設置、電話、窓口対応を行っている。実際に、窓口に来られて応募したいと相談があり、実際の要項を渡して県に連絡をしてくださいというような案内をしているところである。

令和元年度旭公園水泳プールの運営について（資料10）

昨年までのスポーツ施設の再編の時に、浜田市には4つのプールがあるが、その内の屋外プールで結構利用が多いということもあって、今年からPRも兼ねて庁議や定例教育委員会でお知らせという形で報告をしたいと思う。

一般開放期間としては、7月20日から8月20日の概ね1か月間で、プール開放時間は10時から16時までである。旭公園内にあり、利用料は記載のとおりである。

昨年度の利用実績は、1か月の間に940人、1,000人弱の方がプールで楽しんでいるといったところである。旭の方も来られているが旧市内の方も来られていて、県外からも来られていて結構楽しんでいるようである。今日現在の時点で250の方が利用している。例年並みのスタートを切っているといったところである。一般開放であるため、この数字の他に午前中はPTAの運営で旭の子どもたちが利用していたり、6月からは小学校や中学校が授業で使っているが、その数字は入っていない。本当の開放している時の利用人数である。以上である。

平岡室長

令和元年度ふれあいフォーラム「力のある学校園と学級集団づくり」（資料11）

資料11をご覧ください。ふれあいフォーラム浜田市人権同和教育研究集会の開催についてである。

開催日時は、8月19日（月）10時30分から12時10分まで、

場所は石央文化ホールである。これは毎年開催をしている教職員向けの講演会であるが、一般市民の方にも声掛けをしている。

今年度は「力のある学校園と学級集団づくり」というテーマで、神戸親和女子大学の客員教授である新保真紀子さんに講演していただく。新保真紀子さんは、平成 19 年に一度浜田市に来られている。プロフィールにあるように、人権同和教育の推進に特に力を入れておられる。多数の方にご来場いただき、人権同和教育についてともに学びたいと考えている。なお、この日は議会の全員協議会があり、教育長が欠席のため、主催者のあいさつは藤本委員にお願いしている。

石本教育長

以上、資料に基づいて報告をいただいたが、その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

資料 4 から資料 11 までの説明があった。委員方から質問意見等があれば願います。

質疑応答

藤本委員

資料 7 で報告をいただいた教育魅力化推進事業であるが、ここに括弧書きで書かれている浜田市県立高等学校支援連絡協議会という組織は、浜田市以外の他の市町村にもこういった組織があるのか。

村木課長

松江市と出雲市以外にはある。

藤本委員

非常に苦勞されていると思うが、子どもたちが減っている中で子どもたちをいかに地元の学校に推し進めるのかということが大きな願いだと思うが、私としては私立高校は非常に熱の入れ方違う。私は、学校説明会に行ったことがあるが、全然違う。やはり、公立高校においても楽観的なスタイルではなく、もう少し私立高校まではいかなくても、是非とも我が学校にという気持ちを持たれないといけないと思う。特に高校の魅力化というのは、私たち教育委員会は基本的には義務教育に関わっているため、高校はもちろん義務教育ではないため、私たち教育委員としてもほとんど関わりがない。ただお聞きしてああそうですかというのが現在の状況であるため、知らん顔をするわけではないが関わりも個人的には持てないため、報告を聞いて大変な取組であると思った。以上感想である。

村木課長 藤本委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>旭公園のプールの利用についてであるが、暑い中で子どもたちが泳いでいる。聞くところによると、旧浜田市内から多くの方が来ておられる。知人がいたので聞いてみたら、小さい子を連れて海に行くのは中々大変なので、プールの方がいいと旭のプールにかなり来ておられたようである。</p>
石本教育長	<p>旧浜田市内の保育園も利用されている。幼児用のプールも広いので。</p>
宇津委員	<p>温水プールだと、水から上がったときの温度が、体が温められて肌が気持ち悪いという感想を持つこともあると聞く。旭のように高台にあって、風が抜ける状況はむしろその方がさわやかでいいのかなと思った。</p>
石本教育長	<p>説明があったように、旭には学校にもプールがあったが老朽化をして、今は学校のプールを使わずに市の公園のプールを授業で使うことにしている。</p>
藤本委員	<p>経費削減でもあり良いと思う。</p>
石本教育長	<p>確かに両方あっても無駄と言えは無駄である。</p>
宇津委員	<p>サン・ビレッジ浜田のシーズンオフの利用についてであるが、利用料金は1時間あたり400円となっているが、これは個人で支払う額であると思うが、団体に利用する時はいくらか。</p>
村木課長	<p>これは指定管理者が試験的に設定している金額で、1人でも400円、団体でも400円で試行的にやっているところである。今後、利用料金の設定については順調にシーズンオフのスペース利用が定着すれば、考えていかなければならないと思っている。現時点においては、1人でも団体でも400円で運用している。</p>
石本教育長	<p>その他はよろしいか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>

4 その他

(1) その他

石本教育長	<p>事務局からその他何かあるか。</p>
各課長	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>委員方からご報告やご質問があればお願いする。</p>
各委員	<p>特になし。</p>

次回定例会日程

定例会 8月23日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 9月27日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

14:46 終了